

文化財保護事業に係る補足説明資料

1 県・市指定文化財の修繕・補修（2件）

（1） 傳宗寺薬師堂（市指定建造物）

① 内容

濡れ床板の一部張替え、手すりの一部取替え及び補修、縁束柱の修繕、前拝破風の修繕

② 補助費

873千円（総事業費：1,748千円）

（2） 伊豫稻荷神社（県指定建造物）

① 内容

楼門塗装補修（平成29年度～平成30年度）

② 補助費

1,731千円（平成29年度総事業費：5,394千円）

※【参考】平成30年度実績 市補助費975千円 総事業費3,040千円

2 指定文化財登録（1件）

（1） 対象

豊川渉関係資料（歴史資料）

（2） 内容

市指定文化財として、登録（現在登録件数：113件）

3 民具を活用した出前授業（3回）

（1） 内容

中山町内（野中地区・永木地区）に保管されている民具（約7千点）を活用し、市内の小学校向けの授業を実施（主に小学校3年生が中心）

（2） 実績

① 南山崎小学校	…	研究発表事業（11月4日）	24名
② 郡中小学校	…	総合的な学習の時間（1月29日）	21名
③ 中山小学校	…	社会科授業の一環（2月22日）	10名

4 市内仏像調査（1日）

（1） 対象

谷上山宝珠寺本堂脇寺仏像

（2） 内容

神奈川県歴史文化博物館学芸員による調査の実施

5 報告書（宮内家文書目録）の発行（1件）

（1） 内容

宮内家文書（総数約3千点）のうち、近世文書を目録化。宮内家文書最古の史料「灘町由緒書」の翻訳文を掲載（平成30年3月発行）

6 その他

（1） 伊予市灘町宮内家住宅の登録有形文化財（建造物）への登録

宮内家住宅主屋、隠居所、古隠居、潮見堀の4件について、文部科学大臣に答申（平成30年3月9日）。※平成30年5月10日登録

（2） 伊予市誌民文化講演会の開催（5月）

文化協会と連携し、伊予市の歴史人物である豊川渉に関する講演会を実施（約70名が参加）。

（3） スタディ・バスツアー（12月）

市内の歴史・文化をめぐるバスツアーを実施。子規・湊石生誕150年記念に際し、子規・湊石最古の句碑めぐりをテーマとして行った（28名が参加）

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	伊予市内遺跡発掘調査等事業	会計名称	一般会計		担当課	社会教育課	
		予算科目	10 款 5 項 1 目	事業番号	4703	所属長名	森田誠司
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	北岡康平	
法令根拠等	伊予市遺跡詳細分布調査委員会設置要項				実施期間	【開始】	平成 17 年度
総合計画での位置付け	生涯教育都市の創造 個性豊かな文化の振興					【終了】	平成 年度(予定) ■ 設定なし
総合計画における本事業の役割	個性豊かな文化の振興						
事業の対象	伊予市内			事業の目的	市内の埋蔵文化財包蔵地を適切に把握し、開発事業において、事業者等とのスムーズな調整を図るとともに、埋蔵文化財を市民に周知する。		
事業の内容 (整備内容)	埋蔵文化財の保存調査に係る経費補助			昨年度の課題に対する具体的な改善策	長期的な計画を策定した上で、調査の不十分な地域を中心に踏査・試掘を進めていく。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	28 年度実績	29 年度予定	9月末の実績	29 年度実績
直接事業費	2,405	3,224	0	0	0	2,323	試掘箇所数	箇所	4	1	1	2
財源内訳												
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0						
一般財源	2,405	3,224	0	0	0	2,323						
職員の人工 (にんく) 数	0.63	0.00				0.00						
1人工当たりの人件費単価	8,086	8,017				8,017						
※ 直接事業費+人件費	7,499	3,224				2,323						
主な実施主体			実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)									
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	5年間の合計		
					3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	16,000		
成果指標	指標	試掘箇所数	単位	⇒	区分年度	28 年度	29 年度	30 年度	目標 毎 年度			
			箇所		目標	4	4	4				
	指標設定の考え方	試掘等により、埋蔵文化財包蔵地の範囲をより正確に設定することができる。			実績	4	2					
	指標で表せない効果	試掘による結果										

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <div style="border: 1px solid black; height: 150px; width: 100%;"></div>
------------	------	---

今後の方向性 (ACTION)

の 最 終 者 会 議 判 断	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	右記の点を見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を行う。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を行う。	

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	スマートIC設置箇所発掘調査事業	会計名称	一般会計		担当課	社会教育課	
		予算科目	10 款 5 項 1 目	事業番号	4705	所属長名	森田誠司
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	北岡康平	
法令根拠等	文化財保護法				実施期間	【開始】	平成 28 年度
総合計画での位置付け	生涯教育都市の創造 個性豊かな文化の振興					【終了】	平成 30 年度(予定) <input type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	人に優しい道路・交通体系づくり						
事業の対象	伊予市内			事業の目的	中山スマートインター設置に際して埋蔵文化財の調査確認をする。		
事業の内容 (整備内容)	中山スマートインター設置に際して埋蔵文化財の調査確認をする。 (未執行分については翌年度繰越となった。)			昨年度の課題に対する具体的な改善策	契約に基づき、計画的に発掘作業を実施し、期日までに整理作業及び報告書の作成を進めていく。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	28 年度実績	29 年度予定	9月末の実績	29 年度実績
直接事業費	6,256	2,121	1,000	0	0	1,883	現地発掘調査	箇所	1	1	1	1
財源内訳												
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債		0	0	0	0	0	現地説明・報告会	人	0	100	198	198
その他	904	904	0	0	0	904						
一般財源	5,352	1,217	1,000	0	0	979	報告書作成	冊	0	0	0	0
職員の人工 (にんく) 数	0.80	0.80				0.80						
1人工当たりの人件費単価	8,086	8,017				8,017						
※ 直接事業費+人件費	12,725	8,535				8,297						
主な実施主体			実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		ネクスコとの契約							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)							30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	5年間の合計
							1,133	0	0	0	0	1,133
成果指標	指標	発掘に係る調査結果の利活用 (報告会等)				単位	区分年度	28 年度	29 年度	- 年度	目標	30 年度
	指標設定の考え方	遺跡の特徴を捉えた上で、伊予市の歴史の深さを市民に認識してもらい、普及啓発活動を通じて、市民に還元する。				⇒	目標	0	1	0	1	
	指標で表せない効果	啓発活動による意識の変化					実績	0	4	0	1	

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		県内外より注目される遺跡となることが予測される中、文化財の専門員が不在となっており、可能な範囲で外部の専門家等へ協力を依頼しながら、報告書刊行に向けて整備を進めていく。										
事業の事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S	事業成果・工夫した点・事業の苦勞した点・課題	当初の計画より遺物数の料も多く、遺跡のないようにについても慎重に対応する必要がある調査であったが、外部専門家に協力を求めながら、コストを抑えて効率的に作業を行った。			
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5							
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5							
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	4							
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5							
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	5							
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A						
		コスト効率	5 4 3 2 1	4								
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1	5								
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S			事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 包蔵地にかかる開発行為に対する発掘事業であり、必須事業である。報告書完成を目指し継続実施する。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5							
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5							
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	4								
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1	3								
		施策への貢献度	5 4 3 2 1	4								
効率性		手段の最適性	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A						
		コスト効率	5 4 3 2 1	3								
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1	5								
事業の事業評価		自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S	事業の方向性			<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 包蔵地にかかる開発行為に対する発掘事業であり、必須事業である。報告書完成を目指し継続実施する。
				社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5						
				市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5						
	有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	4							
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	3							
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	4							
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A						
		コスト効率	5 4 3 2 1	3								
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1	5								
	事業の事業評価	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S		事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 包蔵地にかかる開発行為に対する発掘事業であり、必須事業である。報告書完成を目指し継続実施する。	
				社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5						
				市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5						
有効性			事業の効果	5 4 3 2 1	4							
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	3							
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	4							
効率性		手段の最適性	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A						
		コスト効率	5 4 3 2 1	3								
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1	5								
事業の事業評価		一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S	事業の方向性			<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 包蔵地にかかる開発行為に対する発掘事業であり、必須事業である。報告書完成を目指し継続実施する。
				社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5						
				市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5						
	有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	4							
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	3							
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	4							
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A						
		コスト効率	5 4 3 2 1	3								
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1	5								
	事業の事業評価	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S		事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 包蔵地にかかる開発行為に対する発掘事業であり、必須事業である。報告書完成を目指し継続実施する。	
				社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5						
				市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5						
有効性			事業の効果	5 4 3 2 1	4							
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	3							
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	4							
効率性		手段の最適性	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A						
		コスト効率	5 4 3 2 1	3								
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1	5								
事業の事業評価		一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S	事業の方向性			<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 包蔵地にかかる開発行為に対する発掘事業であり、必須事業である。報告書完成を目指し継続実施する。
				社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5						
				市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5						
	有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	4							
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	3							
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	4							
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A						
		コスト効率	5 4 3 2 1	3								
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1	5								
	事業の事業評価	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S		事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 包蔵地にかかる開発行為に対する発掘事業であり、必須事業である。報告書完成を目指し継続実施する。	
				社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5						
				市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5						
有効性			事業の効果	5 4 3 2 1	4							
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	3							
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	4							
効率性		手段の最適性	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A						
		コスト効率	5 4 3 2 1	3								
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1	5								
事業の事業評価		一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S	事業の方向性			<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 包蔵地にかかる開発行為に対する発掘事業であり、必須事業である。報告書完成を目指し継続実施する。
				社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5						
				市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5						
	有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	4							
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	3							
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	4							
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A						
		コスト効率	5 4 3 2 1	3								
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1	5								

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <div style="border: 1px solid black; height: 150px; width: 100%;"></div>
------------	------	---

今後の方向性 (ACTION)

の 最 終 者 会 議 判 断	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	右記の点を見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を行う。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を行う。	